

## 職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	柿崎工務所での仕事体験の振り返り	事務局	124
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	天野 大 <sup>だい</sup>

2024年7月30日。楽しみにしていた柿崎工務所への仕事体験が始まりました。僕はこの日が楽しみで楽しみで仕方がありませんでした。というのも、僕は工業や建設にとっても興味があるからです。いろいろな工業や建設の記事を調べたりもしていました。だから仕事体験の話聞いた時、真っ先に工業や建設関係の職場に行きたいと思いました。

当日、ドキドキする気持ちもありましたが、その倍くらいに不安な気持ちにもなりました。仕事内容をこなせるか心配でした。しかし、いざ行ってみると、とても丁寧に教えてくださり、慣れてない作業もありましたが、「緊張しないで楽しんでやろう!」と言ってもらえたおかげで緊張もとけ、難しい作業も楽しくなっていました。

仕事体験1日目は作業現場を車で回りました。僕たちが仕事体験をする前に大雨が降り、土砂災害で大変な時期での仕事体験でした。社員さんが「災害などが起きた際、最初に救助に向かうのは、我々です。」とおっしゃっていました。僕はその言葉を聞いた時、衝撃を受け、建設や工業などの仕事以外にも災害救助にも力を入れているのだなと感じました。自分の中で、勝手に自衛隊や警察が向かうものと思っていました。そんな災害救助などを行っている現場を見学しに行ったとき、大人数で土砂や木をどけたり、壊れた道路などを真っ先に修復したりと、とても行動が素早く、すごいなと思いました。建設だけでなく市民のためにも行動しているのがとてもカッコよく、自分も将来こんな仕事をしてみたいと思いました。

その後、金山にあるダムを見に行きました。そのダムはまだ作っている途中だったのですが、そのダムの近くには森林がたくさんあり、土砂崩れが起きやすいそうで、土砂崩れが起きた時の想定もしてあり、僕は完成がとても楽しみになりました。ダムというのは水を貯めるだけという印象があったけれど、山と山の間に落ちてくる水を貯めるなどの役割もあるのだなと初めて知りました。

1日目の作業が終わり、とても楽しかったのですが、正直めっちゃくちゃ疲れた気持ちがありました。2日目はどんな事をするのか、僕は楽しみで仕方がありませんでした。

待ちに待った2日目は、車で秋田県の近くにあるトンネルを見学しに行きました。トンネルを掘っている現場について、お話を聞く機会がありました。資料やトンネルの作業について話を聞くと、とても大変でキツイ仕事であると感じましたが、その分やりがいもとてもあると感じました。自分の思っていたことよりもはるかにすごい作業をしていて、いつも通っているトンネルや高速道路などはいろいろな人の苦勞があつてここまでできているのだなと、僕は感動してしまいました。

トンネルを掘る作業についても聞きました。トンネル開通の際に機械を使い、トンネルを開通する。トンネルを開通するにはどのくらいかかるのかも疑問に思い、聞いてみることにしました。聞いてみると、驚くほど長い期間がかかっていました。普通のトンネルであれば約数年で完成できますが、場合によっては数十年もかかることもあるそうです。僕が想像していたよりはるかに長い期間であり、驚きを隠せませんでした。毎日、トンネルを掘り続けることはとてもすごいことであり、大変なことだけど、やはりその分やりがいも半端でないと思いました。身近なもので表すならば、パズルを数年から数十年かけて完成させたということ。そう考えると、とてつもないことだと感じました。

トンネルを掘っている所の近くに浄水場のようなものがあり、そこも見学しに行きました。大雨や台風により土砂が川に流れ込み、環境に害がある川の水を持ってきて浄水をする活動も行っているそうです。まず土砂の混ざった水を炭酸ガスと水素に二つの気体を混ぜて、その気体を水に入れると、上にきれいな水が残り、下に泥がたまるそうです。その上に残ったきれいな水だけを川に放流して、下に残った泥の水

分を抜き、機械で圧縮して、乾燥した状態をコンクリートに活用しているそうです。まさに再生可能なエネルギーだと思い、すごく関心を持ちました。

その浄水場の中にも入ることができました。とても複雑な構造をしていました。その後、測量という作業を行いました。測量というのは、建築する場所や作業を行うところに印をつけることを言います。これだけ聞くと簡単のように聞こえますが、作業をいざ行ってみると、とても難しかったです。楽しくもありました。今回の作業は、側溝の測量を行いました。測量には二種類あり、僕たちは二人のペアに分かれて作業をしました。僕たちは工具などを使って側溝の目印を立て、上から下に水が流れるようにするためにする測量です、ハンマーと釘で木を固定し、流れなどを確認する作業を行いました。もう一つのペアは光とカメラを使い、設計図通りの構造にするために必須な測量です。このような色々な測量をして、柿崎工務所さんでの作業を全て終わりました。

作業が終わり会社に戻る途中にも、作業などについての話もたくさんしてくれました。2日間にも渡り作業をして来た感想は、とても楽しかったのはもちろん、普段通っている高速道路や道端で見かけるものなど、たくさんものを作っていてすごいなという尊敬の気持ちです。他にもいろいろな作業の中でできないことや難しい事があったとしても、とてもやさしく接していただき、嬉しかったです。普段は見られないような作業の中身や、仕事体験をしないと分からないこともたくさん学ぶことができましたし、柿崎工務所さん自体にも興味や関心が湧きました。自分も将来、こんなふうに尊敬されるような人やカッコイイ大人になりたいと思いました。そのためにも、今後の勉強や進路などに今回の仕事体験を生かして、今後も頑張っていきたいと思います。